

事業名	山梨県スポーツ・レクリエーション祭実行委員会助成費			調査番号	110
細事業名	山梨県スポーツ・レクリエーション祭開催事業費	財務コード	163501		
担当部課室	教育委員会	スポーツ健康 課	生涯スポーツ 担当 (内線)	8413	

事業の概要

実施期間	始期 H 1 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	補助(山梨県スポーツ・レクリエーション実行委員会)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	県民	交流を深めながら、気軽に参加し、スポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができる
		結果、何に結びつけるのか
		生涯スポーツの振興及び健康の保持増進、体力の向上
内容	県民が気軽に参加し、スポーツレクリエーションを楽しみ、交流を深める場とし、スポーツの振興を図ることを目的として、山梨県スポーツ・レクリエーション祭の開催経費を助成。 交付先:山梨県スポーツ・レクリエーション祭実行委員会(実行委員会から各開催種目団体へ補助) 会場:8市町 種目:19種目、2協賛種目 協賛種目 武術太極拳 車いすマラソン	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	実施種目数	目標	19	19	19	19	19	19
		実績(見込)	19	19	19	19	19	19
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	参加人数	目標	5,500	5,100	5,100	5,000	5,000	5,000
		実績(見込)	5,153	5,092	4,957	4,948	4,925	5,000
		達成率	93.7	99.8	97.2	99.0	98.5	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		4,650	4,168	4,182	4,124	4,032	3,805	3,425

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	種目の多くが団体競技であることから、選手一人の欠席がチームの不参加につながるケースがあり、参加者数の増減に大きく係わっているが、目標5,000人のところ4,925人の参加(98.5%)であり意図した成果はほぼ上げている
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い		
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない		
	説明	例年約5,000人の参加が見込まれ、地域住民のスポーツ機会を確保することにより、スポーツの振興に期待ができる		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない		
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	例年、少額であるが執行残が生じているため、各開催種目団体における必要経費等を整理し、予算の減額を検討する必要がある		

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

縮小	説明	例年、少額であるが執行残が生じているため、各開催種目団体における必要経費等を整理し、予算を減額する
----	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。